祝！第70回 桜の聖母 卒業生

全国的には旧課程最後の学年となる、桜の聖母学院高校にとって節目の第70回卒業生。中学2年の終わりからコロナ禍による全国一斉休校となり、中学3年春の修学旅行が中止になった学年だが、高校でも1年次の文化祭が中止になるなど影響が続く中、2年次の修学旅行は長崎に行き、一人の発熱者・感染者も出さなかった。いま目標の進路を実現して、コロナ後の社会へと羽ばたく卒業生に、惜しみない祝福が贈られる。

本校校舎の窓から望む、満開の桜と吾妻小富士の雪うさぎ（昨年４月）

学校長賞は８名に

本校卒業生最大の栄誉である、創立者の名を冠した「聖マルグリット・ブールジョワ賞」の該当者はいなかったが、学校長賞には1名のダブル受賞を含む8名が選ばれた。

学業成績部門では、西村麻央さん（1組）と玉置優さん（2組）。文化活動・スポーツ活動部門では、3年連続インターハイ全国大会に出場した、卓球部の細川芹里菜さん（2組）、大澤さくらさん（3組）、全日本卓球選手権にも出場した原夢璃さん（3組）の3名と、硬式テニスでインターハイ全国大会や国民体育大会に出場した、中澤楓さん（3組）。そして3年前から全校あげて取り組んでいる、年に一度は何かのコンクールに応募しようという本校独自の「ワンチャレンジ」で、第81回全日本学生児童発明くふう展に応募し、内閣総理大臣賞を受賞した佐藤優衣さん（3組）に贈られる。

生徒会活動部門では、1年次後期から3年次前期まで、会長を含む生徒会役員を務めた前述の西村さんと、同じく4期務めた三宅司紗さん（1組）が該当した。

玉置優さん

西村麻央さん

細川芹里菜さん

三宅司紗さん

「聖マルグリット・ブールジョワ賞」
学校長賞受賞の対象となった生徒のうち、特に優れた功績を残し、在学中の後輩のみならず、後年にわたって後輩の良き模範となると認められる者

「学校長賞」
高等学校在学中の学業成績・生徒会活動・文化活動・スポーツ活動において、優れた功績を残し、後輩の良き模範となる者

(1)学業成績
3学年を通して真摯に学業に臨み、各学年末評点平均が90点以上である者
(2)文化活動・スポーツ活動
部活動や校外活動において、インターハイや国体などに出場するなど著しく活躍した者
(3)生徒会活動
4期連続して生徒会役員として、積極的に生徒会活動に貢献した者
（但し、4期連続者のいない学年は、3期とする）

「皆勤賞」
3年間を通して、無欠席・無遅刻・無早退である者

「精勤賞」
3年間を通して無欠席であり、遅刻・早退の合計が3回以内の者
（但し、3年次の出欠扱いは、1月末までとする）

佐藤優衣さん

中澤楓さん

原夢璃さん

大澤さくらさん

この中には遠距離通学者や皆勤賞受賞者も多く、頑張る人はすべてにおいて頑張るということかもしれない。後輩の皆さんも、これら先輩を手本に、さらなる努力を続けてほしい。

【皆勤賞】
1組　西村　麻央
　　橋本　真央
　　三宅　司紗
2組　玉置　優
3組　佐藤　萌果
　　長南　舞奈

【精勤賞】
1組　末永　愛菜
　　松田　結愛
　　三浦　茉桜
2組　三村　光音
　　佐藤　愛莉
　　佐藤　ほのか
　　髙橋　安曇
　　髙橋　真理
3組　大塚　汐梨
　　二階堂　莉名

卓球部 4年ぶり 東北制覇！

本校が誇る全国レベルの部活動・卓球部は、春の全国選抜卓球大会の予選にあたる東北選抜卓球大会で、過去に3度の優勝を果たしてきた。4年ぶりの王者奪還をかけて臨んだ今回、前代未聞のアクシデントに見舞われながらも、わずか5人のメンバーで4度目の優勝を勝ち取った。その裏にあった、マンガでもあり得ないような実話とは。

今回の第47回東北高校選抜卓球大会の会場となった、岩手県奥州市水沢区は、もはや世界の野球史上最高の選手と呼んでもいい大谷翔平選手（現ドジャース）の出身地。その二刀流は、よく「野球マンガでもあり得ない現実」と表現されるが、今回はそれを彷彿させるようなドラマが起こった。これまで20年近く本校卓球部を率いてきた、顧問の小林直哉先生が、出発直前にインフルエンザと判明。そこで急きょ監督代行としてチームを指揮することになったのが、こちらも全国大会に何度も出場しているサッカー部の顧問、遠藤彩樺先生だった。もとより遠藤先生は本校卓球部の出身で、進学先の日体大でも卓球を続け、インターハイやインカレで活躍した名選手。4年前に本校に赴任してからも、サッカー部の顧問を務める傍ら全国教職員卓球大会で2連覇を果たすなど、その腕は衰えていない。今回はたまたまサッカーの大会や遠征がなく、担任する3年生も家庭学習期間に入っていたため白羽の矢が立ち、2月2～4日の東北大会に、異競技の二刀流監督として卓球部を率いることとなったのだ。

５人で東北大会を制した卓球部（奥州市総合体育館）

サッカー部監督が急きょ監督代行に

とはいえ普段は直接指導していない選手たち、さらに数少ない部員のうち1名が体調不良で参加できず、2年生3名・1年生2名のわずか5名で戦う団体戦を、急造監督がいかに指揮するか注目されたが、ふたを開ければ破竹の快進撃。宮城県第一代表の聖和学園も含まれる予選リーグCブロックでは、2戦で1試合ずつ落としただけの5戦全勝で通過。この時点で、各ブロックの上位2位までともう1校の計7校が行ける、全国選抜大会への出場を決めた。

1～3位決定リーグ戦の初戦は、本校が昨年のインターハイ東北大会で敗れている八戸工業を、予選リーグで破って勝ち上がった山形城北との対戦。シングルスのエース対決では原田優衣選手（2年）が敗れたものの、山内愛永選手（1年）はフルゲームの末に粘り勝ちし、3―1で勝利。勝てば優勝が決まる2試合目は、前年度優勝の青森商業を予選リーグで破って勝ち上がった盛岡第二との対戦となったが、原田選手と加藤光咲選手（1年）がシングルスで連勝し、ダブルスの原田選手・久保菜々美選手（2年）のペアはフルゲームの末に勝ち切って、終わってみれば3―0のストレート勝ちという、圧倒的強さで東北チャンピオンに返り咲いた。

第51回全国高校選抜卓球大会は、3月22日よりお隣の山形県は天童市の山形総合運動公園体育館を中心に開催される。さすがにここでは正監督の小林先生の指揮に戻るが、東北大会に劣らぬミラクルなドラマを期待したいものだ。

来年大きく変わる大学入試

約30年間続いた大学入試センター試験が「大学入学共通テスト」に代わって4回目の受験シーズンも、間もなく終了。そして来年からは、現在の高校2年生から始まっている新課程に対応した入試に、大きく様変わりする。何がどう変わり、私たちはどんな対策をすれば良いのか、本校進路指導部長の吉田充（まこと）先生にうかがった。

Q：4回目の大学入学共通テストは、これまでとの違いはありましたか？

A：大きなトラブルもなく、今までよりは落ち着きました。英語や数学の平均点は少し下がったものの、次年度から新課程が始まることもあってか、穏やかで安定した結果となりました。

Q：今年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから初の共通テストでしたが、昨年までと比べて変化はありましたか？

A：5類移行前は、マスク着用と2週間分の検温記録の提出が義務でしたが、今回からはマスクは自由、検温記録の提出もなくなりました。ですがコロナ禍に入ってからできなくなっていた、教員の試験会場までの引率は引き続き不可です。

Q：いよいよ来年からは、新課程の共通テストとなりますが、具体的に何が変わるのでしょうか。

A：新たに「情報」が加わり、これまでの5教科7科目の900点満点から、6教科8科目の1000点満点に。そして国語は「実用的な文章」が加わって5問構成となるため、10分長くなって90分に。数学はこれまでの「数Ⅱ・数B」が「数Ⅱ・数B・数C」となり、10分長くなって、「数Ⅰ・数A」と同じ70分となります。

何より大きく変わるのが地歴・公民で、地歴では総合科目に探究科目を組み合わせた「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」が登場。公民でも新科目「公共」に従来の「倫理」「政治・経済」を組み合わせた「公共、倫理」「公共、政治・経済」が登場します。本校の生徒は履修科目の関係で、この中の「歴史総合、世界史探究」（国立文系・私立文系）と、「公共、倫理」（国立文系・国立理系）を選択することになります。ですので1年生は現在学んでいる歴史総合を、2年生の文系生徒は現在学んでいる世界史探究と公共を、理系生徒は公共をしっかり学習し、3年次には文系も理系も倫理にきちんと取り組むことが、定期考査と受験勉強に直結することになります。

Q：進路選択の対策や注意点は。

A：入試の仕組みが大きく変わる大学が多いので、しっかり調べてその情報を活用しながら自分に合った受験方法で受験してもらいたいと思います。特に高校生一人だけでは集められないような情報戦となるので、家族や担任の先生と情報を集めて相談しながら、自分に合った仕組みを見つけることが大切です。

Q：1・2年生へのアドバイスをお願いします。

A：基本的なことですが、とにかく日々の学校における学習の、予習・復習の繰り返しが大切です。特に新課程に移行してからは、実用的な文章や読解力を問う問題が増え、解きにくくなっています。もちろん読解力があっても知識がないと解けないので、まずは基礎をしっかり固めること、そして知識を反復して読解力を身に着けていくことが、何よりも重要です。

合格体験記は2面に

修学旅行で訪れた能登

2021年10月、のとじま水族館で。後列右端が浅野先生

今年の元旦夕方に石川県能登地方を襲った、M6・9の大地震。13年前の東日本大震災の津波を思い起こさせる映像に、私たちも他人事とは思えなかった。しかも本校では、2年半前の修学旅行で能登を訪れていたのだ。その学年は既に卒業しているので、当時担任の一人として引率した浅野素良先生に、思い出を回想してもらった。

2021年の修学旅行は、特別な意味を持っていました。新型コロナウイルスの流行によって、中学校の卒業式もままならず、高校の入学式翌日からも長い家庭学習期間が続き、スポーツ大会や文化祭も中止になるなど、多くの制限の中で高校生活の半分を過ごしてきた生徒たちでした。一つ上の学年は修学旅行すらも中止となりましたが、この学年は飛行機を使うカナダや長崎はまだ無理でも、新幹線で往復可能な、この年限りの北陸方面への2泊3日の修学旅行が実現し、待ちに待った高校生活最大のイベントとなりました。

能登半島中部・七尾市の沖合に浮かぶ能登島にある「のとじま水族館」は、初日の最初の目的地でした。大宮駅で東北新幹線から北陸新幹線に乗り換え、富山県の新高岡駅に到着後、貸し切りバスで日本海を眺めながら1時間半。午後2時過ぎに到着した水族館前でクラスごとに記念写真を撮りましたが（写真）、背景に模型が写っているジンベエザメ2匹が、ここの目玉です。入館するとまず日本海最大級・水量1600tの水槽があり、大きな本物が出迎えてくれました。ほかにもペンギンやアシカと間近で触れ合ったり、イルカと一緒に日本海をバックに写真を撮ったり、旅行は始まったばかりなのにたくさんのお土産を買ったりして楽しみました。どこか閉塞感のある毎日が続いていたので、生徒たちにとってさっそく良い息抜きになったと感じました。

今年1月1日の能登半島地震で、のとじま水族館も甚大な被害を受け、再開の目途は立っていません。多くの生き物が県外の水族館に運び出されましたが、大きすぎるジンベエザメはそれができず、9日と10日に2匹とも死んでしまったそうです。毎日命と向き合い、救うために尽力されている飼育員の方々の精神的・肉体的疲労も、計り知れないことと思います。一つでも多くの命が救われ、飼育員の方々と共に健やかな日常が戻りますように。生徒たちに大切な思い出、コロナ禍の中で彩りを与えてくれたあの水族館が復興し、再び多くの人々があの場所で命のたくましさを学び、励まされる日が来ますように。そしてこの地震でお亡くなりになった方々のご冥福と、避難生活を続ける能登の皆様が一日も早く元の生活に戻れることを、お祈りいたします。

カナダ修学旅行 いよいよ再開！

ところで新型コロナが感染症法上の5類となって、間もなく1年。海外からの観光客も戻ってきて、日本の学校でも海外研修や留学が少しずつ再開されている。本校でも、2019年に一度だけ実施したがコロナのため中断していた、海外カナダ・国内長崎の選択修学旅行を、今年入学する学年から再開できる見通しとなった。とはいえその実現には、コロナ前とは異なる大きな困難が伴う。

カナダの行先や行程は4年半前と同じ、5泊7日で東部のフランス語圏ケベック州中心。西海岸の英語圏バンクーバーなどよりも航空運賃は高くなるが、本校の修学旅行なら東部フランス語圏に行かないわけにはいかない。カナダ第2の都市モントリオールは、本校のおおもとの創立者＝聖マルグリット・ブールジョワが築いた町で、彼女がここで1658年に始めた学校こそ、本校の起源だからだ。旧市街にはマルグリットの業績を伝える史跡がいたるところにあり、姉妹校との交流も、本校ならでは。もちろんお約束のナイアガラの滝やシーズン真っ盛りのカナダの紅葉も、大きな魅力となっている。

この春に入学する新1年生は、今年夏休み前までにカナダか長崎かを希望し、30名集まればカナダ行きが成立するが、ここで問題となるのが費用。コロナ前でもカナダは長崎の約3倍＝1人あたり40万円だったが、それでも2019年の初回には53名がカナダを選んだ。この時点の為替レートは1カナダドル＝82円。だがコロナ後の現在は1カナダドル＝110円と円安が進んだ上、コロナ禍からの回復で世界の経済が復調してインフレーションが続いているため、航空運賃や燃油サーチャージをはじめ、宿泊代、食事代すべてが値上がりしているのだ。そのため、現時点での見積りは5年前のほぼ1・5倍＝約60万円となっている。それでも「桜の聖母に入ったからには、この学校でしかできない体験をしたい・させてやりたい」と考えるご家庭とその生徒が多ければ、来年10月に6年ぶりのカナダ修学旅行が実現する。ちなみに前回の参加生徒の中には、これをきっかけにフランス語に興味を持ち、外国語学部フランス語学科に進んだ卒業生もいるなど、行けば誰にとっても一生一度の貴重な体験となることは間違いない。

今後1年半の間に日本の金利が上がって少しでも円高方向に戻れば、費用も安くなる可能性もある。なおカナダ希望者が少なかった場合には、全員が長崎への国内修学旅行となる。

令和６年度入試　大学合格者数

2024年2月17日判明分 既卒2名を含む

学校名	学部名	学科・専攻・コース名	合格者数
福島大学	人文社会学群	経済経営学類	2
	農学群	食農学類	1
	理工学群	共生システム理工学類	1
岩手大学	教育学部	学校教育教員養成課程 理数教育コース	1
福島県立医科大学	看護学部		1
	保健科学部	作業療法学科	1
宮城大学	看護学群		1
愛知産業大学	造形学部	建築学科	1
		スマートデザイン学科	1
茨城キリスト教大学	看護学部	看護学科	1
岩手医科大学	看護学部		1
神奈川大学	経済学部	経済学科現代経済学専攻	1
	国際日本学部	日本文化学科	1
鎌倉女子大学	家政学部	家政保健学科	1
神田外語大学	外国語学部	スペイン語	1
		ポルトガル語	1
国際医療福祉大学	保健医療学部	看護学科	1
順天堂大学	スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	1
尚絅学院大学	心理・教育学群	学校教育学類	1
城西国際大学	国際人文学部	国際交流学科	1
上智大学	外国語学部	ドイツ語学科	1
		フランス語学科	1
	総合人間科学部	看護学科	1
		教育学科	1
	法学部	法律学科	1
昭和女子大学	国際学部	国際学科	1
	食健康科学部	管理栄養学科	1
	人間文化学部	日本語日本文学科	1
女子栄養大学	栄養学部	実践栄養学科	1
成城大学	文学部	芸術学科・国文学科	2
聖心女子大学	現代教養学部		1
専修大学	文学部	日本文学学科	3
仙台青葉学院大学	リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法専攻	1
大正大学	文学部	人文学科・国際文化コース	1
東海大学	国際文化学部	地域創造学科	1
東京女子大学	現代教養学部	人文学科歴史文化専攻	1
東京都市大学	人間科学部	人間学科	1
東北学院大学	経済学部	経済学科	2
	国際学部	国際教養学科	1
	地域総合学部	地域コミュニティ学科	1
	人間科学部	心理行動科学科	1
	文学部	歴史学科	1
東北福祉大学	教育学部	教育学科初等教育専攻	1
	健康科学部	保健看護学科	2
	総合福祉学部	社会福祉学科	2
		福祉心理学科	4
東北文化学園大学	医療福祉学部	看護学科	2
		リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	1
		リハビリテーション学科 視覚機能学専攻	1
	経営法学部	経営法学科	2
獨協大学	外国語学部	ドイツ語学科	1
日本医療科学大学	保健医療学部	診療放射線学科	1
日本大学	文理学部	国文学科	2
文教大学	健康栄養学部	管理栄養学科	1
宮城学院女子大学	学芸学部	英文学科	2
	現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	1
	生活科学部	生活文化デザイン学科	2
武蔵野大学	法学部	政治学科	1
明治学院大学	文学部	芸術学科	2

短期大学合格者数

学校名	学科・専攻・コース名	合格者数
桜の聖母短期大学	キャリア教養学科	6
	生活科学科食物栄養専攻	2
女子栄養大学短期大学部	食物栄養学科	1
仙台青葉学院短期大学	歯科衛生学科	2
福島学院大学短期大学部	保育学科	2
山形県立米沢女子短期大学	国語国文学科	1

桜の聖母学院新聞

発行所
福島市野田町七丁目11番1号
桜の聖母学院高校新聞部

校歌

美しきわがまなびや
山脈はめぐりて高きその姿
黄金なすそのやすらいに
汝をば育み
黄金なすそのやすらいに
みそらはほほえむ

紙面紹介

2面 ●福島県立医科大学キャンパス見学記
●大学受験合格体験記
●学生時代・佐久間先生

はりこだま

▼1年のうち最も平和で穏やかな日であってほしい1月1日元旦の夕方、石川県能登地方を中心としたマグニチュード6・9という大地震が起こった。翌2日には羽田空港で、その能登へ支援に向かおうとした海上保安庁の航空機と日本航空旅客機が衝突・炎上する大事故も発生。誰もの記憶に残る2024年の幕開けとなってしまった▼本校では1月半ばに能登半島地震への募金を行い、生徒教職員合わせて34万円が集まった。だが倒壊した家屋やインフラ設備の被害は復旧が進まず、被災者は避難生活を余儀なくされている。私たちも13年前の東日本大震災の体験を風化させず、常に防災に備えておく必要を再認識させられた▼そのため今年になってからの日本国内のニュースは、どうしてもこの能登半島地震関連の報道が多くを占めているが、世界では先月24日で2年となったロシアのウクライナ侵攻の終わりが見えず、さらに昨年10月から新たに始まったイスラエルのガザ地区への報復攻撃も、収まるどころか激しさを増している。そんな中で今月は当事国ロシアの大統領選挙が、さらに11月には全世界に大きな影響を与えるアメリカの大統領選挙が予定されている▼現在民主・共和両党の中で大統領候補を選ぶ予備選挙が続いているが、共和党内で圧倒的優勢なのが、前大統領のドナルド・トランプ氏だ。ライバルが早々に撤退し、対立候補は元国連大使ニッキー・ヘイリー氏のみ。早ければ今月5日の「スーパーチューズデー」で決着すると見られている。インド系移民2世でサウスカロライナ州で女性初の知事を務めたヘイリー氏だが、現時点での劣勢は明らか▼もはやトランプ氏を阻むものは、3年前の議会乱入事件に関してそもそも大統領の資格があるのかを問う裁判を始めとする、4つの刑事裁判と3つの民事裁判のみとも言われている。いずれにせよ前代未聞の前大統領・現候補者に間違いない▼だが仮に共和党の候補者と認められても、本選挙で民主党の候補者を破らなければ大統領には返り咲けない。しかしその民主党で再選を目指す現職ジョー・バイデン大統領は、81歳という高齢が最大の弱点。かたやトランプ氏も77歳、世界の未来を託せる若きリーダーは現れないのだろうか。

山村桃花先輩の案内で行く

福島県立医大医学部見学記

福島県立医科大学の、看護学部には本校から毎年入学するが、医学部となると数年に一度。11年前に現役生が、6年前に浪人生が共に一般入試で合格している。2年前の本校卒業生・山村桃花先輩は、一浪まで医師を目指していたという山村先輩のお話は、もはや別世界に住んでいる人のようだった。

福島県内唯一の医学部

福島県立医大の直接の前身は、第二次世界大戦で日本の戦局が厳しさを増していた1944（昭和19）年に設立された、「福島県立女子医学専門学校（女子医専）」である。徴兵や勤労動員により学校から姿を消した男子学生に代わり、男子専門職を代行できる女子を養成する必要から開校され、1944年3月の入学試験には1180名が応募、うち151名が第1期生として入学した。ただし福島県内の医学校としてのルーツは、明治初期の須賀川医学校にまで遡れるという見方もあり、その医学校出身で戦前の日本を代表する政治家・後藤新平（大谷翔平選手と同じ岩手県奥州市水沢区出身、1857～1929）の胸像が、昨年3月に福島県立医大5号館（写真）1階に設置されたのも、そのような経緯によるものだ。

開校から1年余り後の終戦と、その後の学制改革の中で、女子医専は看護学校になるとの噂も流れたが、学生・教職員や、県・自治体・商工関係者らによる大学昇格運動が実を結び、1947（昭和22）年6月13日、旧制福島県立医科大学予科の設置が認可され、現在この日は開学記念日となっている。福島県から杉妻町の土地が寄付され、1952（昭和27）年には新制の公立大学として認可された。

1970年代後半、開発が進む福島市南東部の蓬莱団地に隣接した光が丘に、新キャンパスと附属病院の移転が決まり、1988（昭和63）年に完成・移転した。1998（平成10）年には、全国的な四年制看護大学開設の流れの中で、附属看護学校を看護学部に改組、医学部と看護学部の2学部体制に。そして記憶に新しいところでは、福島駅東口に新設されたキャンパスに、3年前に保健科学部が設置され、理学療法学科、作業療法学科、診療放射線科学科、臨床検査学科の4学科の1期生が、あと1年で卒業を迎える。

ただし光が丘の医学部看護学部のキャンパスと、駅前の保健科学部のキャンパスを、学生が互いに行き来して授業を受けることはなく、学生にとってはほぼ別の大学のような状況だという。保健科学部にも本校卒業生がたくさんいるので、そのうち見学・取材に行くこととし、今回は山村先輩に光が丘の医学部キャンパスを案内してもらった。

福島県立医大5号館入り口の名物、マジックミラーの前で

やりたいことに常に全力で

山村先輩は、幼稚園から高校まで桜の聖母学院で学んだ、生粋の聖母っ子。3歳の頃から医師に憧れ、周囲の大人からは進学のたびに桜の聖母以外の学校に進むことを勧められたが、高校まで本校を選んだ。いま希望の進路を実現して思うことは「自分で勉強する意志のある人は、どの高校でも大丈夫」だという。

中学ではソフトテニス部、高校では新体操部に所属。コロナ禍に入る前年の高校1年次の桜華祭では、クラス展示でジェットコースターを提案し、クラスメートと力を合わせて見事実現するなど、学校生活に常に全力で取り組む生徒だったという。いま改めて女子校で過ごした時期について「女子だけなので、力仕事でも何でも男子に頼らず、自分たちで何とかする姿勢が自然と身に付いた」と振り返ってくれた。

英語が得意だったが、医学部を目指して迷わず理系を選択。同じクラスに医学部志望の友人が何人かいたことも励みになった。だが現役での挑戦は残念ながら叶わず、仙台の予備校で1年間の浪人生活を送る。最初は個別指導的なクラスだったが、途中から大教室のクラスに移って、ライブの授業に感動したという。現役時代に福島でビデオ教材の塾に通ったこともあったが、「合う人と合わない人がはっきりしていて、私は合わなかった。教材費ばかり高く、お勧めしません」とのこと。

一浪まで出願可の「A枠（県内既卒）」で見事福島県立医大医学部に合格した後にも、そこで安堵することなく、直ちに「MD-PhDプログラム」に応募し、見事合格。最近国内の多くの医学部で採用されているこの制度は、医学研究を志向する医学部学生に対し、早期に研究の機会を与えるために、大学院に準ずる教育を医学部在籍時から開始するもので、それこそ入学直後の1年生から研究室に所属できる。山村先輩は放射線健康管理学の研究室に入り、放射線の第一人者の教授に数多くの医療現場に連れて行ってもらうなど、入学から1年も経たないうちに様々な体験を重ねてきた。ちなみに現在、教授の先生方は能登半島地震の支援に行っている方も多いという。

とはいえ山村先輩が目指すのは、移植外科の医師。この分野はアメリカの医療の方がはるかに進んでいるため、早期の留学も視野に入れている。このように紹介してくると、先輩は勉強オンリーの学生のように思われるが、高校までの文武両道を大学でも貫いている。しかも高校時代に没頭した新体操以外のスポーツをやりたいと、硬式テニス部とハンドボール部を掛け持ちするハードな生活。医大生たちがユニークな髪色で参加することで有名な、8月の東日本医科学生総合体育大会にも出場し、現在の先輩の髪色は白に近い金髪。高校時代まではしっかり校則を守っていたという先輩だが、夢を叶えた大学で思い切り今を楽しんでいる姿に、何事にも全力で取り組むこと、やりたいことをとことん追い求める生き方、何より私達の先輩にこんなすごい人がいることを教えられた、貴重な見学・取材となった。

自然体験学習で共に活動した仲間たち（真ん中の列の「ナ」が佐久間先生）

私の学生時代

佐久間桃先生の巻

私は小学生の頃から、教員になりたいと思っていました。教育学部がある大学は数多く存在しますが、経済的な面を考えて地元の福島大学を選び「人間発達文化学類文化探究専攻地域生活文化コース」に入学しました。福島大学は「学部・学科」という言葉を使わず「学群・学類」を採用しています。また「人間」「文化」など、よく聞く言葉が羅列していますが、どのようなことを学ぶ学類か、いまいち伝わりにくいですよね。私が入ったのは「社会科・地歴公民科の教員免許を取得するためのコース」です。現在はコース名が変わっているようですが、今でも社会科系の教員免許を取ることができます。

ほぼ同じメンバーのなかで長い時間を過ごしていた私は、入学してすぐに「世界が広がった」と感じました。仲良くなった友人たちは出身地が異なり、各地域の方言や食べ物を紹介し合い、ときには白熱した論争を食堂で繰り広げていたのが印象に残っています。友人の輪も、視野も大きく広がった気分でした。

そんな友人たちと最も熱中したのが、1・2年生がとれる「自然体験実習」という授業です。小学5年生から中学3年生を連れ、磐梯青少年自然の家で2泊3日の自然体験学校を開くことがゴールです。それに向けて、グループに分かれて4月から8月にかけて準備をしました。私は1日目の活動を担当する新セクションに入りました。子どもたちに何の活動をさせるか話し合っていましたが、ある日先生から「猪苗代の学びセクション」に変わったことを聞かされました。そこから猪苗代のことについて学ぶ活動を考えるようになりましたが、子どもたちに興味をもたせ、かつ楽しませるアイディアを出すのは至難の業でした。仲間たちと額を突き合わせてうんうんとうなっていると、いつの間にか夜中になっていることもありました。方針を巡って大喧嘩になることもありました。辛くてやめたくなるときもありました。しかし、何とかアイディアを出し合い、小道具を作り、シナリオを覚えて本番を迎えました。実際に子どもたちが楽しそうに過ごしている様子を見て「ああ、やってよかった」と心底思いました。本番が終わった後は、達成感と喪失感で号泣してしまいました。

その経験が、今の私を作り上げています。仲間とぶつかったときの対処法や、さまざまな個性をもつ子どもたちとの接し方、そして教員にとって大事なことを学びました。自然体験実習があったからこそ、私は教員になれました。かつて共に活動した仲間たちも、それぞれ経験を生かした職業に就いています。今でも年に数回会って話すことがありますが、だいたいいつも実習の思い出話に花が咲きます。

この大学時代の経験を通して皆さんに伝えたいことは、やってみたいと思ったことに挑戦し、あきらめずに最後までやり通す経験をしてほしいということです。辛いこともあるでしょう。しかし達成感はそれを乗り越えた人にしか分かりません。そして挑戦のなかで、得られるものは一生ものです。皆さんが、これからの人生で達成感を感じ、喜びの涙を流す経験ができますように。

大学受験～現役合格体験記

この新聞の発行時期の都合上、一般受験も含めたすべての結果を掲載できないのは残念だが、既に合格を決めた3年生の声を紹介する。後輩の皆さんは、これら先輩方の貴重な体験やアドバイスを参考に、今後の高校生活を過ごしていただければ幸いである。なお3年前より、従来の公募推薦は「学校推薦型選抜指定校」、AO入試は「総合型選抜」に変更されている。

松田 結愛（桜の聖母学院中）
国福島大学人文社会学群 経済経営学類

【受】学校推薦型選抜公募
【動】様々な地域でのフィールドワークを通して、自主的に学びを深められるプログラムがあることは、将来地域の活性化に貢献したいと考える私にとって魅力的だったから。また多彩な国際交流の機会が用意されていることも、志望校を決めた動機の一つ。
【勉】日々の小テストや定期考査の準備はもちろん、その後の復習にもしっかり取り組んだ。目の前のことを着実に進め、すきま時間を無駄にせず通学時間を英単語や古文単語の勉強にあて、効率の良い勉強を心がけた。また毎日同じ時間に勉強し、生活リズムを崩さないことも、質の高い勉強をする上で大切にした。
【活】吹奏楽部の部活動。部長を務め、部員全員が一丸となって成長し、楽しい部活にできるよう、部員一人ひとりのコミュニケーションを大切にした。自主的に意見を出し、チームを率いていく経験は、私にとって大きな成長の一つになるものだった。
【桜】先生方の手厚いサポートを受けられたこと。出願準備から、小論文、面接の対策まで、親身になって向き合ってくださり、たくさんのアドバイスをいただけたことは、自分の自信にもつながり、心の支えとなった。先生方の丁寧で温かなご指導のおかげで、合格できたと思っている。
【後】今はまだ明確な夢が見つかっていない人も多いかもしれませんが、3年間の高校生活はあっという間に過ぎてしまいます。勉強面では、結果に一喜一憂し過ぎず、勉強してきた過程を大切にし、モチベーションを高く持って取り組むと良いと思います。そして自分の興味関心があるものに、失敗を恐れずチャレンジし、それを最後まで継続してやり切れば、努力は報われるはずです。応援していますので、頑張ってください。

佐藤 奏（福島市立北信中）
国福島大学農学群 食農学類

【受】総合型選抜
【動】以前から自然環境に興味があり、環境問題や農業への影響を学びたいと思い志望した。特に福島に貢献したいと考えたため、地域に根付いた活動ができる福島大学を選んだ。
【勉】反復で学習すること。一度頭に入れても正しく理解していないと忘れてしまうことが多くあったので、間違えたところはもう間違えないと思えるまで何度も解くことを心がけた。また自分の進みたい分野や関心のあることは、自ら調べて知識をつけた。このことは受験時にとても役立った。
【活】桜華祭実行委員会や、クラス活動、行事などの際にクラスメートと協力し、成功のために頑張れたことは、とてもいい経験で、思い出に残るものとなった。
【桜】宗教行事や様々な講義を通して、多くの人のお話を聞けたこと。自分の考えを見直す、視野が広がる良い機会になったと感じた。また募金活動なども多くあり、戦争や災害について改めて向き合い、自分にできることを考えて協力できたのは、良い経験になった。
【後】3年間の高校生活はあっという間なので、悔いの残らないようにしてほしいと思います。自分が関心のあるものや挑戦したいことを見逃さないで取り組んでください。勉強はもちろん、高校生活の中で頑張ったことは将来を考えたときに大きな武器になります。後悔の残らない、楽しい高校生活を送ってください。

沼崎 言美（福島市立松陵中）
公福島県立医科大学 保健科学部作業療法学科

【受】学校推薦型選抜公募
【動】リハビリテーションに興味があり、大学のオープンキャンパス・説明会でリハビリの一つである作業療法のイメージが具体化され、将来の自分像を考えることができた。そんな作業療法を、福島に根ざした形、高度な医療環境で学べるこの大学・学部に決めた。
【勉】英語が苦手だったため、同じ100語の英単語を1週間、朝と夜に繰り返して少しずつ暗記した。模試で出てきたわからない単語を紙にまとめ、それらも暗記するようにした。日々の授業はもちろん小テストにも力を入れ、手を抜かずに小テストに取り組むことで基礎的な知識を確実に身に着けるようにした。
【活】吹奏楽部の部活動。けっして楽なことばかりではなかったが、苦難を共に乗り越えお互いに成長していけたことは、何事にも代えがたい思い出となった。
【桜】学校の雰囲気が温かく親しみやすいこと。その温かさのおかげで3年間安心して勉強に取り組めた。また受験期に先生方が忙しい中、個別指導や面接指導で親身になって教えてくださり、着実に合格に近づいたと感じている。
【後】高校生活は本当に一瞬です。最大の試練ともいえる受験は、物凄い速さで迫ってきます。「勉強はやり過ぎても悪いことはない」と、担任の先生がおっしゃっていました。小テスト、定期考査など全力で挑んでください。一つずつ頑張っていけた人は、受験で本領発揮できます。また高校生でしかできないことにも、たくさん挑戦してください。後悔のない高校生活を送れるよう、応援しています。

三浦 帆那美（福島市第二中）
公福島県立医科大学 看護学部看護学科

【受】学校推薦型選抜公募
【動】将来は福島で看護師として働きたいので、地域に密着しているこの大学であれば、福島の地域医療の現状について深く学べると思ったから。
【勉】宿題を丁寧に解くことと、小テストや定期テストの勉強に力を入れた。運動部に所属していたので両立が大変だったが、疲れていたとしても最低限の学習は必ずやるようにした。眠くて夜に勉強できない時は、朝早く起きて勉強した。
【活】サッカー部の部活動。目標に向かって最後まで仲間と全力で取り組んだ。部活動を通して、人として成長することができた。
【桜】キリスト教について学び、行事に参加できたことは、私にとってとても貴重な体験だった。また先生方が優しく、受験時にもたくさん支えていただいた。
【後】受験の準備をする中で、悩むこと、大変なことがたくさんあると思いますが、一人で考え込まず、まず周りの人の意見を取り入れると良いと思います。高校生活はあっという間に終わってしまうので、しっかり楽しみながら進路実現に向けて頑張ってください。

西村 麻央（郡山ザベリオ学園中）
私上智大学 総合人間科学部教育学科

【受】総合型選抜（カトリック高校対象特別入試）
【動】国際教育に強みがある点に魅力を感じたため。また学校全体として国際性に富んでおり、様々な価値観を持った人々と共に学ぶことで、課題の多い国内外の教育のあり方について深い知見を得られると思った。
【勉】定期テストや日々の小テストも、手を抜かず取り組んだ。覚えることは目で見るだけでなく、口に出して読んだり紙に書いたりと、様々な方法で確実に定着させるよう心がけた。自分の力を過信せず、通学や休み時間のすきま時間を活用したり、わからないところは何度も先生に質問した。
【活】生徒会とインターアクト部の部活動。校内外の幅広い世代の方々と共に活動したことは、大きな経験となった。2つとも継続する中で、自分の成長を感じられ自信につながった。
【桜】応援してくれる先生方に囲まれて3年間を過ごせたこと。特に受験時は、先生方が親身になって指導してくださったことで、当日は自信を持って試験に臨めた。普段の学校生活でも、先生方からの励ましの言葉が頑張る原動力となった。
【後】「普段」の努力と「不断」の努力。これは担任の先生がある日の終礼時にくださった言葉です。私はこの3年間、自信をもってできたとは言えませんが、ここの先も心に留めて実践できる人になりたいと思います。目標達成のためには、周りを気にせず一人で黙々と頑張ることも必要ですが、周囲の言葉に耳を傾けることも大切です。自分を助けてくれるヒントはたくさんあります。それらを見失わないでください。

玉置 優（田村市立船引中）
私上智大学外国語学部 ドイツ語学科

【受】総合型選抜（カトリック高校対象特別入試）
【動】もともと留学に興味があったので、留学制度の充実に大きな魅力を感じた。また文理融合型キャンパスなので、色々な考えを持った人たちと交流することができ、視野を広げられると考えたため。
【勉】通学に片道2時間かかったため、すきま時間や移動時間を有効活用した。特に英語は、単語を重点的に勉強した。リスニングの力を鍛えるため、英語の字幕を出して洋楽を聞いたり洋画を観たりして、単語同士のつながりや発音理解の向上に努めた。
【活】サッカー部の部活動。仲間と共に目標に向かって切磋琢磨しあった日々は、人生の宝物になった。オンとオフのメリハリをつけることで集中力を保ち、よりよいプレーができるよう心がけた。
【桜】面接練習や小論文対策など、先生方の手厚いサポートのおかげで受験に成功した。出願から合格発表まで全てを含めて受験なので、本当に長い間多くの先生方に支えられた。
【後】一番大切なのは体調管理です。体調を崩して学校に来れる日が少なくなると、友達との時間も減ってしまいます。人生で一度しかない高校生活を大事にしてください。「後悔先に立たず」とは本当にその通りです。一度きりの人生を最高のものにできるように、これからもお互い頑張って生きていきましょう。

富岡 千尋（福島市立清水中）
私上智大学外国語学部 フランス語学科

【受】総合型選抜（カトリック高校対象特別入試）
【動】国際機関の公用語の一つであるフランス語を学びながら、社会学や経済学などの専門分野を学ぶことができるため。
【勉】まずは定期テストで良い点数を取ることを目標に勉強した。数学は基本問題を解けるように、英語は単語を覚えたり、教科書の本文や例文を日本語から英語に、またその逆をするなど基礎を固めることを意識して勉強した。
【活】インターアクト部と茶道部の部活動。インターアクト部ではSDGsのポスターを描いたり、ウクライナの子ども達と文通した。茶道部では作法やおもてなし精神を学んだ。どちらも良い経験になった。
【桜】先生方の手厚いサポートを受けられたこと。受験の際、面接練習や小論文対策などを、熱心にご指導いただいた。またたくさん相談に乗っていただき、的確なアドバイスのおかげで安心して受験に備えられた。
【後】早めのうちから基礎を固めておくことが本当に、本当に大事です。過去の自分にも強く言ってやりたいです。また部活動なりワンチャレンジなり、自分がした活動内容を残すようにしてください。総合型選抜や指定校推薦を視野に入れている人は、役立つはずです。最後に高校3年間に2年生の皆さんは、周囲の声に焦り不安を感じるかもしれません。ですがそこまで気負うことはありません。必ずしも大きな夢を描く必要はないし、少し興味があるなという気持ちで選ぶこともできます。目の前がうまく見えない時は一度立ち止まって、心の中の自分とよく話し合ってみてください。視界が開けます。

桜井 瑶奈（福島市立岳陽中）
私東北福祉大学 教育学部教育学科

【受】学校推薦型選抜（高大連携）
【動】将来保育士を目指しており、4年間しっかり保育について学びたいと考えたから。また大都市にある大学なら、多様な保育について学べると考えたため。
【勉】授業で解いた問題や課題を解き直し、誰かに教える時どう説明するか想定しながら学習した。また本やニュースなどから、小論文対策の知識を得た。
【活】美術部、調理部、茶道部の3つの部活動。どの部活も内容が異なるが、いつでも全力で楽しむことの大切さを学べた。
【桜】他人を思いやる心の大切さ。特に受験期の周囲への配慮や、自分に対する声かけやアドバイス等、思いやりの心の恩恵を肌身で感じた。
【後】よく後輩から、将来の夢が定まらない、大学をどう決めたら良いのかわからないと相談されます。特に2年生の皆さんは、周囲の声に焦り不安を感じるかもしれません。ですがそこまで気負うことはありません。必ずしも大きな夢を描く必要はないし、少し興味があるなという気持ちで選ぶこともできます。目の前がうまく見えない時は一度立ち止まって、心の中の自分とよく話し合ってみてください。視界が開けます。

氏名（出身中）	合格大学・学部・学科	受験方式	志望校を決めた動機	高校時代にこころがけた勉強方法	高校時代、勉強以外に打ち込んだ活動	桜の聖母学院で学んでよかったこと	後輩へのメッセージやアドバイスなど

編集後記

☀医大な？先輩から、様々な生き方や考え方があることを学べました。（二刀流）
✽医大では圧倒されっ放しで、マスクの下は口が開いていました。（韓流）
♥締め切り直前に、校舎移転構想の報道が飛びこんできてびっくり。（亜流）
♠野田町校舎は来年50年を迎えるそうです。（我流）

新学期に向けて スタートダッシュ！
参考書フェア
辞書・電子辞書ご相談下さい。
文化情報発信館 西澤書店
福島市大町7-20
Tel.024-522-0161
Fax.024-522-4139

大切な写真は
●広々とした空間を持つ —ファミリースタジオ—
●緑に包まれた —ガーデンスタジオ—
●絵画が楽しめる —サロンスタジオ—
わが家のメモリーアート
PHOTO SALON
ワタナベスタジオ
〒969-1612 福島県伊達郡桑折町字西大隅3-13
TEL024-582-3152
FAX024-582-3622

福島県知事許可（般-29）第22204号
中小企業IT経営力大賞 審査委員会奨励賞
有限会社 古山鉄筋工業所
専務取締役 古山 吉浩
2級建築施工管理技士
鉄筋基幹技能者
〒969-1761
福島県伊達郡国見町大字藤田字アラ田10-1
TEL（024）585-5129
FAX（024）529-6028
URL https://furuyamatekkin.com
E-mail：furuyama.tekkin@me.com
ふーぷ郎

感動のそばに、いつも。JTB
旅は心の窓を広げます
お問い合わせ・お申込みは下記店舗まで。
—団体旅行—
㈱JTB福島支店
〒963-8004 福島県郡山市中町10-14 和久屋ビル2階
TEL 024-932-0657 FAX 024-933-6620
営業時間 9：30～17：30（土・日祝休業）
—グループ・個人旅行—
㈱JTB福島イトーヨーカドー店
〒960-8068 福島県福島市太田町13-4 イトーヨーカドー福島店1階
TEL 024-531-3090 FAX 024-531-3088
営業時間 10：00～19：00（イトーヨーカドーの休館日休業）

創業明治38年（1905年）
地域と共にさらなる1世紀へ
ISO 9001 ISO 14001 認証取得
総合建設業
㈱利根川組
代表取締役 利根川 靖幸
本社
福島県伊達市霊山町掛田字本山57番地1
TEL:(024)-586-3121
FAX:(024)-586-3122
URL:http://www.tonegawagumi.jp/
整備工場
福島県伊達市霊山町字本山56番地
TEL:(024)586-3181